

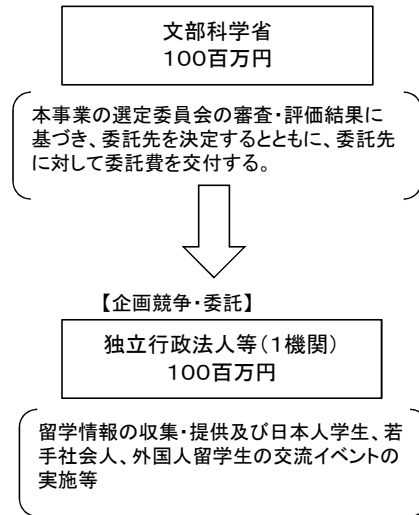
平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	日本人の海外留学促進事業		<b>担当部局庁</b>	高等教育局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成26年度・未定		<b>担当課室</b>	学生・留学生課		学生・留学生課長 渡辺 正実		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進 13-1 国際交流の推進				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定) 「第2期教育振興基本計画」(平成25年6月14日閣議決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定)を踏まえ、意欲と能力のある若者全員への留学機会の付与を実現し、2020年までに日本人留学生を6万人(2010年)から12万人へ倍増させるとともに、教育振興基本計画(平成25年6月14日閣議決定)において指摘されている、留学情報の収集・提供等の強化及び留学への機運を醸成する取組の充実を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	事業の目的を達成するため、以下の取組を実施する。 ○大学、企業等と連携した留学情報の収集及び提供の実施 ○日本人学生、若手社会人及び外国人留学生が交流する機会の提供 ○マスメディア、関係行政機関等を利用した海外留学に関する広報活動 等 事業の実施にあたっては公募等により、独立行政法人等に委託。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計					100	
	執行額							
	執行率 (%)							
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (32年度)
	日本人の海外留学人数			人	-	-	-	120,000
			達成度	%				
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	日本人学生、若手社会人及び外国人留学生等の交流イベント(シンポジウム、ガイダンス等)開催回数			回	-	-	-	※26年度の活動見込みである。 ( 5 )
<b>単位当たりコスト</b>	20 (百万円/回)		算出根拠	単位あたりコスト =26年度要求額(100百万円)/開催回数(5回)				
平成25・26年度予算内訳	<b>費目</b>	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	留学促進事業委託費	-	100百万円					
	計	-	100百万円					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は国の政策として全国の日本人学生を対象としての海外留学の機運を醸成するために実施するものであり、国が主体となり、国費を投じて実施する必要がある。</li> <li>・本事業は「日本再興計画」及び「教育振興基本計画」等を踏まえ行うものであり、優先度が高い。</li> </ul>		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・費目・使途は事業実施のための委託費であり、公募要項等においても使途の詳細等を定めることとしているため、真に必要なものに限定されていると認められる。</li> </ul>		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ及びインターネット等のみを利用した情報提供と比較して、実際のイベントを行うことにより、学生との双方向での相談の実施や、学生同士のつながりを持つ機会が多いため、より効果的であると考えられる。</li> <li>・また、民間企業等に委託した場合と比較し、留学に関する知識及び実績を有する大学等へ委託したほうが、コスト面でも有利であると考えられる。</li> </ul>		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>本事業は、「日本再興戦略」及び「教育振興基本計画」等を踏まえて実施されるものであり、広く国民を対象とした優先度の高い事業であると認められる。成果目標として2020年までに日本人の海外留学者数を倍増させることとしており、そのため、活動指標として情報収集・提供や交流のためのイベント実施を掲げており、事業効果及び費用対効果の面からも妥当であると判断できる。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
<p>本事業は、成果目標及び活動指標も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることなどから、当省の事業として実施することが適切かつ必要と認められる。</p>						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記入したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.独立行政法人等(1機関)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	日本人の海外留学促進事業の実施	100			
計		100	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0